

### 第3回分倍河原駅周辺まちづくり協議会 全体会 議事要旨

1 日 時：平成30年4月23日（月）午後7時～8時50分

2 場 所：片町文化センター3階第1会議室

3 出席者：都市整備部地区整備課 職員6名

分倍河原共栄会 5名

片町二丁目自治会 3名

片町3丁目自治会 1名

美好町3丁目自治会 2名

分梅第一自治会 1名

分梅高倉自治会 1名

(株)ジオ・アカマツ 1名

その他 1名

(株)首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 3名

4 資 料：次第

資料1-1 分倍河原駅周辺まちづくり協議会会則（案）

資料1-2 分倍河原駅周辺まちづくり協議会部会会則（案）

資料2 まちづくり提案書（案）及び交通戦略（案）への意見

参考資料1 第2回分倍河原駅周辺まちづくり協議会全体会議事要旨

その他 測量作業の実施についてのお知らせ

5 内 容

(1) 協議会会則及び部会会則の改正について

（○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等）

・資料1-1、資料1-2について市から説明。

○会則案について大きな異存はない。意見募集の際に公聴会を行ってはどうかという意見を出したが、その意見はどのように反映されているのか。（美好町3丁目自治会）

⇒公聴会を行ってほしいという意見については、まちづくり提案書についての意見なのか、交通戦略についての意見なのか判断がつかなかったため、今回の資料の中には掲載していない。（市）

○公聴会の開催について、市はどのように考えているのか。（美好町3丁目自治会）

⇒市の公聴会についてまちづくり協議会の規則に載せるのは、法務技術上難しい。協議会の中で、意見を聴く場を設けることは考えられる。（市）

○意見募集で出た意見については、すべて記録として残してほしい。公聴会が無理なのであれば、協議会として全体への説明会を行うべきである。また、関係自治会の皆さまにもお知らせすべきである。（美好町3丁目自治会）

⇒交通戦略については、全市でパブリックコメントを行い、協議会でも意見交換を行った。

- 3月には案をお示しし、地区内の皆さま約2,000人に意見を伺ったところである。(市)
- 意見募集のやり方が不十分であると思う。地区内だけでなく、ひとまわり範囲を広げて関係自治会への意見を聞くという手続きをとったほうがよい。(美好町3丁目自治会)
- ⇒まちづくり提案書はこれから策定していくものであるため、その策定のタイミングで地区に接する自治会に回覧するというのはどうか。(市)
- 意見の募集や反映になぜこだわっているのかというと、当方の意見が反映されていなかったためである。(美好町3丁目自治会)
- ⇒今回の意見についても、議事録に残しておく。(市)
- 意見募集の際は、A、B、C、D地区に掲示板をつけたらどうかとも書いた。曖昧にしないでほしい。(美好町3丁目自治会)
- ⇒まちづくり提案書については、皆さまの意見を次回お示しする(市)
- 会則と公聴会はどのように関係してくるのか。会則は、協議会でどのように決定するかということを書いていると思う。今回出席されている方は、意見は言えるが決定権はない。各団体の構成員の意見集約の仕組みを聞きたい。(分倍河原共栄会)
- ⇒今回出席されている方は、意思決定している団体の代表者としている。団体によって人数の違いがあるため、団体の中で意見を集約してもらいたい。(市)
- 各団体での意見の集約の方法はどうするのか。(分倍河原共栄会)
- ⇒団体により、意見の集約の方法は違うと思うので、各団体のやり方で行ってもらいたい。(市)
- 団体と個人との関係はどうなるのか。(分倍河原共栄会)
- ⇒自治会の中で全ての人が同じ意見ということはないと思う。(市)
- 今後、事業の対象となる場合、対象となるのは少数の方になると思う。その場合、各自自治会でどのように意思決定するのかを決めた方が良いのではないかと。少数の方の救いの道を決めておく必要があるのではないかと。(分倍河原共栄会)
- ある程度グレーゾーンがある形で進めていかないと、話が前に進まないと思う。立ち退きをする人への担保まで今決めるのは難しいと思う。いろいろな意見が出てきた中で、その都度考えていくべきではないかと。(片町二丁目自治会)
- 誰でも意見が言えるような公聴会は有効ではないかと思った。会則については、一旦保留にして、議事を先に進めるのはどうか。(美好町3丁目自治会)
- ⇒一旦保留にして、先に進める。(市)

(2) まちづくり提案書(案)及び都市・地域交通戦略(案)に関する意見募集の結果について(○:出席者からの質問等、⇒:意見への回答等)

・資料2について市より説明。

(3) 都市・地域交通戦略(案)について(○:出席者からの質問等、⇒:意見への回答等)

・都市・地域交通戦略(案)について市より説明。

⇒交通戦略については、今月策定し、来月の議会に報告する予定である。

また、意見募集では、土地の権利者の方への補償についての検討が足りないのではという意見をいただいた。地権者に対しては、今後個別に協力をお願いしていきたい。

交通戦略の内容の修正はないと考えているが、いただいた意見を踏まえながら、今後の実施プログラムについて検討していきたい。(市)

○国土交通省が出しているコンパクトなまちづくりに則って進めていくのか。(片町二丁目自治会)

⇒国土交通省が出している冊子は、今後の少子高齢化等を踏まえ、主要な拠点に都市機能を集約し、公共交通の利便性を向上することにより、利用しやすいようにしていくという考え方である。府中市としても、コンパクトなまちづくりを進めるために、立地適正化計画を策定しているところである。交通戦略を策定し、分倍河原駅周辺の公共交通の利便性の向上や歩行環境の改善等の交通施策を進めることで、拠点整備を行ってきたい。(市)

○コンパクトシティは協議会の中ではあまり議論になっていないと思う。そのような考えがあるのであれば、議論した方がよい。(美好町3丁目自治会)

⇒都市計画マスタープランの地域別構想の中にも「コンパクトなまち」ということが書かれており、それに則って交通戦略を作成している。また、交通戦略は、国の認定を受けるために、国土交通省が定めた交通戦略の策定の手引きに則って作成している。(市)

○コンパクトシティとはどこから生まれた言葉なのか。分倍河原に置き換えた場合は何が特徴なのか。(分倍河原共栄会)

⇒分倍河原駅周辺地区におけるコンパクトシティは、高齢化社会を迎える中で、生活するうえで必要な施設等が歩いていける範囲に充足されるようなまちを目指していくという考えである。(市)

○交通戦略の1ページ、3行目はコンパクトシティを連想してしまうのではないか。(その他)

⇒国全体で掲げていることを記載している。(市)

⇒拠点性を高めていくということを書いている。(コンサルタント)

○コンパクトというと、跨線橋や売り場面積が小さくなるということを連想してしまうため、具体的に進めていくときは注意してほしい。(美好町3丁目自治会)

○京王線の高架化とJR南武線の地中化はコンパクトシティとどう関係するのか。(分倍河原共栄会)

⇒京王線の高架化、JR南武線の地中化は予算や地形の問題、高速道路があること等からできないと鉄道事業者から言われている。(市)

○平成2年のまちづくり提案の際は、物理的な問題でなく、予算的な問題でできないと言っていた。(分倍河原共栄会)

⇒影響範囲等を考えなければできないかもしれないが、現実的に考えると、実施するのは難しいということである。(市)

○駅の商業面積はどのくらいを想定しているのか。(分倍河原共栄会)

⇒駅の商業面積については、鉄道事業者で商業的な展開が見込めるのかどうかを検討しているところである。コンパクトとは、面積的に小さくしていくということではなく、拠

点としての集約し、機能を高めていくという考え方である。(市)

○駅周辺でどの範囲まで用地買収が可能なのか、並行して考えなければならない。代替地を整えるのが一番の近道である。(片町二丁目自治会)

(4) まちづくり提案(案)について(○:出席者からの質問等、⇒:意見への回答等)  
・まちづくり提案書(案)についてコンサルタントより説明。

○意見の概要のNo.11にある調整会議はどのようなイメージなのか。(ジオ・アカマツ)

⇒当方の意見であるため、回答させていただく。駅舎の改良にあわせて、今後、駅中に店舗ができると思う。ミナノや商店会、駅の商業施設で共存していくために、話し合いの場があると良いと思った。(美好町3丁目自治会)

○提案としては、調和のとれた商業環境を形成していくということか。関係者で話し合うイメージでよいか。(ジオ・アカマツ)

⇒そのとおりである。(美好町3丁目自治会)

○まちづくり提案書(案)で、様々な事例が紹介されている。事例に基づく検討を進めていくということか。(分倍河原共栄会)

⇒必ずしもこのとおりやるというわけではなく、文章だけでは分かりにくい手法を、イメージとして紹介している。(コンサルタント)

○事例については、今後しっかり勉強していきたい。(分倍河原共栄会)

○時間をかけた割になかなか進まないという印象である。今後どうなるのかという不安が大きい。(分倍河原共栄会)

○今後、測量を行うということだが、7月下旬に終わる予定を前倒しにすることはできないか。測量結果を踏まえて協議会で話し合いたい。(片町二丁目自治会)

⇒測量作業の目的は、お配りした用紙にもあるとおり、道路や駅などの現況を図面化することである。今週の水～木曜日あたりに、対象範囲の皆さまに作業機関からお知らせをポスティングする予定である。実際に事業を行う場合は、別途測量が必要となる。(市)

○代替地は早めに検討してもらいたい。財産活用課などの関係課には伝えているのか。(片町二丁目自治会)

⇒まだ伝えていない。代替地に限らず、今後調整を図っている必要がある。(市)

○広場の範囲の線は引いているのか。(片町二丁目自治会)

⇒交通戦略の中では大まかなイメージを示しているが、厳密ではない。(市)

○3.11の際に駅前に人があふれて大変だったので、どのような目線で広場をつくるのが大事だと思う。(片町二丁目自治会)

⇒広場をつくるにあたっては、地権者など直接影響する方の意思が重要になるので、担当部署と調整しながら進めていきたい。(市)

○小さい頃から分倍河原に住んでいるが、道路が狭いと思っている。駅の上に商業ビルを建てた場合の、京王とJRの考えは進んでいるのか。(分倍第一自治会)

⇒商業展開については、鉄道事業者側で分析している段階で、今年度中には市に報告がくる予定である。(市)

- まちづくり提案書（案）を見たが、具体的なことはだいぶ先だなという印象がある。まちづくりとなると、京王もJRもメリットがなければ協力しないと思う。駅の南側ロータリーにも、府中駅のような人工地盤化も考えられる。（分梅高倉自治会）
- 測量をしておらず具体的な図面がない中では、意見が進まないと思う。まずは、測量をして現況を把握することが大事だと思う。（片町3丁目自治会）
- 当初は駅舎の改良という話であったが、鉄道関係の話が進まない中で、まちづくりだけ進んでしまっているように思う。目的のない中で測量を行うのか。（片町二丁目自治会）  
⇒測量は駅の構内も行うので、駅舎改良につながるものである。（市）
- 鉄道事業者で駅舎の図面を持っていないのか。（その他）  
⇒分倍河原駅は古い駅なので、正確な図面がない。（市）
- 測量を待たなくても、模型レベルで充分話し合いができると思う。（その他）
- 平成2年のまちづくり提案の際にまとめた内容がぶり返されており、なかなか進まない。駅南側はスペースがあるが、北側はスペースがない。意見募集についても、7件しか意見がなかったので、周知する方法を考えていくべきだと思う。まちづくりニュースは他の文化センターに置くなどすることも考えられる。（片町二丁目自治会）  
⇒時間となってしまったので、次回の全体会で引き続き意見をいただきたい。（市）

(5) その他

- 次回全体会の日程は5月28日（月）を第一候補、6月1日（金）を第二候補とする。  
とする。

以上